

拠出金名: 国際連合環境計画アジア太平洋地域事務所拠出金

国際機関等名	国連環境計画アジア太平洋地域事務所 (英文名称・略称) United Nations Environment Programme/ Regional Office for Asia and the Pacific (UNEP/ROAP)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	環境省地球環境局国際連携課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	50,811	541		1米ドル = 94円	100
平成21年度	55,676	541		1米ドル = 103円	100
平成20年度	61,082	541		1米ドル = 113円	100
当該拠出金の目的・用途等	APFEDショーケースファシリティ				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)			国際機関等の財政(注1) (2009-10年度決算)		
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入 81.06百万米ドル 当該年度の支出 76.28百万米ドル 次年度への繰越 4.78百万米ドル	
1位	UNEPでは、本拠出金のようないわゆるイヤーマーク拠出(用途を指定した拠出金)の総額を算出しておらず、イヤーマーク拠出総額及び拠出率の算出は困難。			会計検査機関名	
2位				国連会計検査委員会	
3位				(UN Board of Auditors)	
4位				(現在の構成員の出身国:南ア、英、中)	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価(注2) (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>国連環境計画が世界中に持っている6ヶ所の地域事務所の1つ。我が国は、アジア太平洋環境開発フォーラム(APFED)の活動である、1) マルチステークスホルダー間の政策対話、2) 持続可能な開発に関する知識イニシアティブ、3) 持続可能な開発に関する革新的ショーケースのうち、3) の実施にあたってROAPに拠出し、ショーケース・プロジェクト促進事業(プロジェクトのモニターと評価、知見と経験の共有)を行っている。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		28人 7.1%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
在ケニア大使館を通じ、空席情報を入手するようにしている。					

(注1) UNEP本体の財政状況を記載。

(注2) APFEDショーケースファシリティを目的とした本件拠出に係る類型を記載。